

魔法管理局、そこは未だ強い男尊女卑の習慣が残る組織

特に男性上司の命令となれば女性隊員はどんなに理不尽な命令であれ、絶対に逆らう事ができない事になっている

んんっ！んんちゅっ！んんちゅぶぶっ！

随分と上手になったじゃないか
僕が色々と仕込んであげたおかげだね

は！隊長には、んんっ
感謝！色々教えてください！何も知らない
私に色々教えていたらない



あむ…んっ、んんう
あの…それで、この前
お話しした件なのですが…んっ！

ああ、君の提案していた
”機動六課”の件だね、今
関係各所で話を進めている所だよ

長く続いた組織というのは
新しくはない流れを拒みたる
僕はねえはやて君みたいな若い人にこそ
頑張りたいと思っっているんだよ

あ、ありがとうございます
んちゅっんっふっ…んっ！

(本当はむしろ逆、妨害している
のだけれどね…はやて君は賢いから
そんな事もお見通しなんだろう)

あんっんんろっ！んんんっ
あむ！んんっあっむんんんっ！

(僕の妨害が効いている内に
なんとかはやて君を僕のモノに
できないものか?)

ちゅばっ、ちゅっ！ちゅっ
んんんんんんっ！んんちゅっ！

(女は男の言う事だけ、素直に
従っていれば十分だというのに！)



んんっんんっあっあふっふっ…っ
んんっんんっあっあふっふっ…っ
んんっんんっあっあふっふっ…っ
んんっんんっあっあふっふっ…っ

(もうっいっっそ、はやて君を
孕ませで…はやて君を
僕のものにしてしまおうか)



んんぶっ、んんっ、んんっ、あっ
んんっ、んんっ、んんっ、あっ
んんっ、んんっ、んんっ、あっ

はやて君、この前の話ー僕との結婚の件
考えてくれたかい？

な、お前するいぞ
はやて君を手元に置いていつでも
ヤれるようにするつもりか

検査でお腹の子は僕の子だと
分かったただらう？ならば、結婚の権利は
お前より僕にある

ぐっ…

で、どうだい
はやて君は

そんな…大事な事…そう簡単には
決められ、ませんから…まっつて…
ください、んんっ、んんっ…

うんうん…そうだね…
(くく、こんなお願いを今すぐ
断りきれないというのは、はやて君的には
かなり迷っている証拠なんだらうね)

（だめ…や…何か…魔法使われてる…
チンコ…気持ちいい…くて
この先…チンコなしの生活なんて
考えられへん…！）

んんっあっはっああっ！！
んんっあっはっああっ！！
んんっあっはっああっ！！

（だからって…こんな非道な
奴らの言う事なんて聞けない…
聞きたくない）

はうっあうっ！あうあうっ！
うっあうっあうあうあうっ！

（でも…でも…何で…
なんで…こんなに、オチンチン、
気持ちいいの！）

あつだめっ、耐えられへんっ
あつあつあつあつ！

おいおい、まだ快樂に耐えよじじが
考えていたのかい？

そんなっ、考えっ
早く、考えっ
捨てるっ！

ふああっ、あつ
ああつあつ！
あああつあつあつ！

らめっらめっらめえええっ！
ふああつううう！
おかしくなるっ！おかしく！
なっうるっうるっ！

ほらっ耐えるなっ、堕ちるっ
僕の嫁になれっ！なるんだっ！
じゃないと、チンコ抜くぞっ



そんなっダメツ！チンコ
一番欲しい時につっ！だめっ
おだめさんだめになる、なるからっ！

射精してっ！いっばいっ！
膣内射精してえええええええっ！

ふあああっ！あっああっ
あああっ！あっあっあっ！



んんんっ
ちゅっ
んんんっ
んんんっ
んんんっ
んんんっ

なんて締めりだ！フエイト君の
：中は！何十人も女の女とセックスの
相手をしてているがこれほど具合の良い
性器は外には：ない

んんんっ
んんんっ
んんんっ
んんんっ
んんんっ
んんんっ

ん：だが、この子はマンコに
入られられているとフェラのレベルが
下がってしてしまうな

んんんっ
んんんっ
んんんっ
んんんっ
んんんっ
んんんっ

ははっ：俺のテクが良すぎて
上の口に集中できないんだろ

そんな訳あるか、他の女の時は
全く反応しないだろうが、
あっ：こら、口を離すな

ぶあっ：んんんあっあっあっあっ！



上の男の言うとおりに、フェイトを
貫く男のセックス技術は並以下だった
下の男の経験人数は平均以上だったが
苦勞せずには女を抱ける環境では大した
技術向上は期待できない

フェイトがフェラチオに集中できないのは
単純にフェイト自身の問題・・・普通の
人に比べて感度が良すぎるのである
男が一度射精する間に十回以上絶頂する
事も珍しくない

（ダメ…だ、これ、オチンチン…
入れられるだけで意識が飛んじやい
そうになる

他の人の話…聞いてると…こんなに、んっ
感じやすいの…私…だけ…
突き上げられるたび体が勝手に反応して
オマンコを締めちやうからよけいにあっ
感じちやって…それ…それ…
またっ…イグツツ…
んあっああっ…あああっ…

おっとイッたのか？…どれ…僕も
すぐに





んっあっやっああっ！
(ダメツ、今、膣内射精されたら
もっとな…大きい…絶頂が…やつ)
あっあああっあああっ！
あああっあああっ！

ふああっ……ふああああんっ！

どうだいフェイト君、キミのマンコは
僕のモノをいっぱいに頬張っている
気持ちいいかい？

気持ちいい、気持ちいいです
オチンチンが私の中を……押し……
上げて、ぐんぐん……つて押されています

ひ……ああっ！奥……に
もう、ああっ、奥にきてるっ！

凄……いです、私、オチンチンで
満たされちゃってます

ふふ、素直になっただね
数カ月前までとは大違いだ
まあ身体の方は前から正直だったかね

ああんっ！ ああああっ！
ふあ、ああっ！ 毎日、毎日！
こんなふうになっ！オチンチン入れられたら
エツ子になっ！ちやう、なっちやうんだもん

おいおい二人だけで盛り上がるな
ほら、フエイト君、こっちにも…
入れてあげよう

あっああっ！ ああああっ！
あっ！ あんっ！ そんな…
二本一気に入れたら、おかしく…なる

おかしくするためにしてるんじゃないか
ほら、遠慮なく

ひああっ！ んんっ、
ダメっ！…！そこ、だめえっ！
もう、もうっ！…！うああっ！

もう、なんだい？ そんな…
かわいい声を出されたら…僕は
もつと激しくしたくなるよ

流石なのはさんです、そんじ…
ああっ、気持ちいいッス

俺も…もっと激しくしてください

んんっんんっ…れる、れるうう

(舌…舐めるたびに…気持ちよくなる)



なの時はが男性隊員の”命令”を
聞く時は必ず魔法でなののは性感を
高めるようにさせられてはいる
一応、なのはにもこの行為を愉しませる為
という建前と言っているが本音は男達の
為の魔法である

女の反応が良い方が男は楽しいのは
その事をわかっている男はわざとないのは
口内を擦るように局部を動かす

んんむっ……んっんんっ！
んっんあっあっ！
(うう…あ、一回で意識…飛んじやいぞっ！
なくらい…気持ちいい)

んっんむっむあっ…んんあっ！
んあっんんあっ！…ふあああっ！

いい表情ですよ、なのはさん…
感じまくりなの全然隠せてないじゃ
ないですか エロエロ過ぎですよ

もっ…くうっ…激しく
突っ込んであげますからね！

ひんあっ…んあっ！…ふあっ
ひんあっ…んあっ！…ふあっ
(腰…抜けちゃうよ…だめんず
だ…めえ)



ところで、なのは君、キミは任務中に少女を保護したらしいじゃないか
名前はヴィヴィオだったか

そう…ですけど、んっ…
それが…なにか？…ふあっ

なにか？じゃないよキミ、任務中に保護したという事は彼女は局の保護下、つまり私の管理下にあるべきなんじゃないかい

え…ちよ、まさか、あんな小さな子まで…

すでに部下がキミの家に向かってる所だよ

待っ…こんな事…してられ
っ…ふあっあっああっ！

駄目だよ、今は僕とのセックス中なんだから家には帰れないよ

やっ止めっ、あっうああっ！

(魔法かかってて…ダメ…これ抗えない…よ)

お願いっ…します、あっ…あっ…
何でも…する、しますから

セックス中だからダメだって
言ってるじゃないか
僕の他にも待っている隊員達がいるんだしね

そんなっ…やっっ、オチンチンっ
だ…めっ、動かさ…ないで

どうしてもというのなら全力で
ここから抜け出せばいい
そこまで無理押しさえつけている
訳でもないだろ？

そんな…無理、魔法が…あっあっ
効いてて…んっあっああっ!!

ほら、頑張れ…頑張れ…

んっあっああっ…うあっ
んっ…んっ…んんああっ!!

ほらほら早くしないと僕が先に
射精してしまひよ?!

えっ、ダメ…射精しちや…射精
されたら

そのままイッテしまじんだろっ?
なのは君は膣内射精されるのが
すきだからね

ダメッダメッ!あっああっあ
あっああっ!!



—U U U U U U U U U U U U U U U U—

あーすごいよティアナ君
やはり若さだね、妻とは
締まりが違うよ

そ、それはっ…んっ
何よりです、あの…んっ！
それで執務官の事なんですけど

あー心配いらないよ、ちゃんとしてあげること
良いい人間を紹介してあげること
良いいコネがないと女が執務官に
なるかなんて絶対に不可能だから
いや、僕に頼んで本当によかったね



あり…がとうございます
あの…んっ、それから…そろそろ
ゴムを付けていいただけると…
最初だけつけていい約束…あうっ
でしただよね？後からちゃんど…

そーだねー、んー、最後まで生の方が
気持ちいいんじやないかなー？
僕じゃなくてね、テナアナ君が

え？

いや僕が中出ししたい訳じゃないよ？

うん、勘違いしないでね
けどさあ、女の子って子宮に直接精液を
注がれた方が気持ちいいんだよ、知らない？

そんな事…ないと思います

+

+

でもティアナ君で中出しって初めてでしょ？
やつた事ないのだからいんじやない？
僕はよく中出しの初めの子に中出しして
あげらんだけだね、皆言うんだよね、
気持ち良かったです、ありがとうございますって

それは…っ！
それに、妊娠しちゃ…う、から

大丈夫だよ、そんなに簡単に妊娠なんか
中出しするから絶対しない、ね？

ダメ、だめですっ！本当にっ！
お願い、です…から

んー、ティアナ君、軽い拒否なら
プレイの内ですますけど、
本気の拒絶は駄目だよ？
これ以上だと僕は、楽しく無いなあ

っ！すみ…ません

+

中出し、お願いします
うあぁっ…あっ…やっ激し…く

うん、そうだね
やっぱりセックスは生中出しに限るね
男も女も気持ちよさが違うんだよ

そう、です…初めて…んうっ
だから…まだ、はっ…わからないけど
きつと…そうなんだと思います

うんうん、ティアナ君もわかって
きたじゃないか！

くだ、さい…あっあっ！
中に…んっんんんっ！

+

+

あっ、あっああっ！そごごっ
ダメッ、やっふああっあっ！

（あれから、もう随分経つのに
全然、執務にはなれそうにない
やっぱり、失敗だったのかも！）

んっんんうっ、あっああっ
ふああっ

（毎日、この男に言われるままに
セックスさせられて…んっ
オチンチンの味覚えこまされて…）

ん…んごごだろ？ティアナ君は
んごごを集中的に犯されるのがいいんだよね？

だめ…え、そ、だめっ！
あっああうっ、ふあっあっあああっ！

(身体の反応がどんどん良くなつて
いくのがわかる…もうとっくに見切りを
つけて、いからはすなものに…私、快樂に
流されてる…執務官の…わたいのか
オチンチンが欲しいの…)

うあっああっ、抜け…だせない
よっ、あうっああっ！
オチンチン気持ちいいっ！

なあ、ティアナ君、
僕の女にならないかい

ふい…今、そんな…事…
あっ、言わ…ないでっ

こうしてにいる時のキミは実に素直だが…
普段の君には僕に対して壁がある
執務官になっってしまったら君は
僕から離れていってしまおう気がするんだよ

(そんな事、当たり前じゃない
アタシと私は！一時的な利害の一致で
こうして…いるだけだっただけだ！
だっただけだっただけだ！)

こうやってスンスンされてると、
訳わかんなくなっちゃくる
理性も消えて言っちゃいけない
事も言っちゃいけない

なっっちゃい

(女になれとか…言ってるくせに
数年たつたら…この男はやり逃げするんだ…)

他に若くて美人な子を見つけて
私を捨てるに決まってるっ!
私は…結局、執務官になれなくて
すっかり開発された身体を持って余して…

けど…なのに
オチンチン入れられてる途中で
言われたら応じるしかない…)

や…やあっやだっ、ふあっああっ!
もうっ…とっづくに、女にっ!
なってるじゃないっ! いっ! じわるしないでよ
チンコ入れてよっ! 中出ししてっ!

おじさん…誰？
ママはどこ？

おじさんはね、ママの上司だよ
ママは今、他の所で男の人と
イイコトしてるんじゃないかな

ヴィヴィオちゃんもママと
一緒にしようか

えっ！一緒に
何…それ、やっつ、やっ
ダメッ…痛っ！
やめて！痛いよおっ！

おほっほっ♪やはり
この年代の子の締めりは格別だ
ほら、あまり叫ぶな
魔法で気持ちよくしてやる

あうっ？ひあっ…何…これ
あっえっ？ふあああっ！ふあっ
あっあああっ！



あうっあうっ！漏れ…んっ
止まらない、おしっこが…
止まらないっ！

尿を漏らす程気持ち
良かったのかい？子供相手だと
効きがいいのかもしれないね

だが…まだまだこれからだよ

ひうっ！だっだめっ！
動かないで…やっああっあうっ！
お腹の奥…ふああっああっ
変だよっ、変だよおっ！

何も知らない少女が僕の手で
性の喜びを知らせていく、何にも
代え難いモノがあるね

あっあっ、ふあああっ！
こっこんなのっ！おかし
おかしなっよおっ、ああっ！

おかしな君にはちよつと早いかも
しれないがね



ふあっああっ、ダメ、だよ
止めて、止めてよおっ！

止められないよ、こんなに
気持ちのいいコト…ヴィオ君にも
すぐわかるようになる
今だって、十分気持ちいいはずだ！

そんな、そんな事…ふあっ
ふあっ！ない…よっ！
あっあっあっ！

ほら、この場所なんかは
ゆっくり刺激してもとつても
気持ちがいいはずだ…存分に
味わいたまえ



え？……あ……はひゃっ……ふあっ！
あっ……んっ……んっ……凄……い
身体……ふあふあ……で……
ママに抱きしめられてる……みたい

ほら、気持ちいいのが
よくわかったらいいの！

やっまた、激しくしちゃっ！
ふあっあぁっ！あっあぁあぁっ！

ふあっあぁっ
あっあぁあぁあぁあぁあぁっ！

(ふふ、また美少女の処女を
手に入れてしまった、私も罪な男だ

それはそうと今日は我慢できずに
無理矢理犯す形になったが、次回からは
もつと計画的に挿入していかないと(な)

あっ、あうっ、あう...はっ
ま、また、魔法掛けた...
掛けられた...

ほらヴィヴィオ君、指なんかじゃ
その疼きは治まらないだろ？
僕のモノを使うといい

おちツ、オチンチンツ、ううっ...
おちめ...う、ちめなの...
おかしくなっちやうの...
オチンチン入れて...欲しいの

入れて欲しいんだね
うんうん♪入れるよ？

うん...入れ...て...
あっオチンチン大きいのが...
入って...ふあっ!

あああう...あっ
あああああっああっ!

はふっはっはうっ！
入ってきちゃった！
オチンチン…！ いったよお♪

オチンチンが入ってくると
グイグイオ君はいつつもご機嫌に
なるよね、なのにどうして
入れる前は嫌がるんだい？

わかんないよお、
オチンチンが
オチンチンが
悪いんだ、こんな変な形の
グイグイオの中に入ってくると
頭いいおんになつてふあつて
気持ちいいんだもん…！ あつ

そうだね、オチンチンが
気持ちいいから悪いんだよね

う、ん…そうオチンチンが
悪いんだもん…
ふあ、あう、あうあうっ！
ふあ、あう、あうあうっ！
ふあ、あう、あうあうっ！

ふあっあっあうっ…
オチンチンが…そこっ…だめ
あっああっ、あっあああっ!!

ヴィヴィオ君の弱い所…
集中攻撃してあげるね

ふああっ、あう、あっ!!
らめっらあめえっ!身体…響く
奥までキュンキュンしちゃう…
ひやううっ、ふあっ!あっあああっ!!

もっと…激しく…
あげるからね

ふあっあっ、ダメッ!!
あっあああっ、イクっ!!
激しいのっ、ヴィヴィオ
イツ…クッろっ!!

ふあっあっあっあっ
あっあっあっあっあっあっ



ヤミル…ごめんなー！

あっあああっあああっ！
ふあああああっあああっ！



あふっ、んん、ああ……！
オチンチンは、あ、オチンチンが……
うんっ、は、あ、入っつて……くるよお

どうだい？もう痛くないだろ？
気持ちいいだろ？

う、うん、すごい、オチンチンが
ヴィヴィオの中、スブスブして
……ひゃうっ、あっあうっ、あうっ

ゆめっ……まだ入れたばかりだから
ゆっくりしてえっ

ん？ヴィヴィオはこうやって
乱暴なくらいにオチンチンスポスポ
されるのが好きだろ？

そう……らけど、んあっ！最初は
ゆっくり……じゃないとお……
オチンチン……んあ、味わえない……ふあっ！



いいじゃないか…それは
また今度のお楽しみだ

ふあっああっ！あっああ
あっあああっ！

二人きりで楽しんでいないで
僕も混ぜておくれよ

あむっんっ…んっんむっ
んっちゅぱっ…ちゅっちゅうっ！

流石、この年代の子は飲み込みが早い
こんな小さな口に僕のモノが
吸い込まれてしまっそうだ

らって、おちんひん…おひひん
らもん、…んっんっ、ちゅぱっ！

あまり洗ってないんだけどね
それでもかい？



ふあぁ、凄いいね...
あぁ、いいっぱいしちゃったね
本当は、おいっぱいお腹いっぱいだよ
グイグイオ、もうお腹いっぱいだよ



ふんっつはんちゅっらんちゅっ！
ふんっつはんちゅっらんちゅっ！
ふんっつはんちゅっらんちゅっ！

ふんっつ、お前、あのギンガさんの
妹なんだってな。あの人は美人だったな
だから入局した時から局上層部のお気に入り
階級もどんどん上がっていったよ

ま、それでもそれより上の男どもに
犯されまくってんだろ。けどな
だが、俺もいつつも犯りてえと思っただよ
そこに来て、ギンガさんの妹のお前が
俺の隊に入ってきてきたんだ































































































































































